

厚生労働省によると、全国の児童相談所が2016年度に児童虐待の相談・通報を受けて対応した件数は、前年度より1万9292件増えて12万2578件（速報値）となり、過去最悪を更新しました。

## 虐待の内容

別では、子どもの目の前で親が配偶者らに暴力を振るう「面前DV（ドメスティック・バイオレンス）」を含む心理的虐待が6万3187件（52%）、身体的虐待3万1927件

# 児童虐待が過去最悪

（26%）、ネグレクト（育児放棄）2万5842件（21%）、性的虐待1622件（1%）でした。増加の要因として、面前DVが心理的虐待に当たるとの認識が浸透してきたことがあげられています。

増加する虐待

に対応するため、児童相談所に勤務する児童福祉司などの専門職を増やし、体制を強化することなどが考えられています。

防犯一口メモ